

令和6年度 福井県立福井南特別支援学校 スクールプラン

【校訓】明るい子 強い子 働く子(地域で生活できる子)

【学校教育目標】豊かな心とじょうぶな体を持ち、自立と社会参加に必要な知識と技能、態度を身に付けた生活力のある児童生徒を育成する。

【教育方針】・児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえ、主体的な学びの実現に向け、ライフステージに応じた学習指導・支援を系統的に進める。
 ・地域とのつながりを深める体験学習、交流及び共同学習、キャリア教育を推進し、就労支援の充実に努める。
 ・特別支援教育のセンター的役割を果たし、地域の園・学校や、福祉・医療・労働等の関係機関との連携を深めることを通して、児童生徒を支援する。
 ・児童生徒が安全・安心に過ごせる学校を目指し、健康・安全・人権に関する教育活動を推進し、児童生徒が自ら安全・安心に過ごす力を高める。

業務改善のための取組

- ・事務的業務の効率化。
- ・会議時間の縮減。
- ・会議のオンライン化。

教育DX

校務分掌	(共通項目) 教育課程・学習支援 教務部・学部	(共通項目) 人権教育・生徒支援 指導部	(共通項目) 進路支援 進路支援部	(独自項目) 保健・安全 保健部	(独自項目) ICTの活用 図書研究部・情報部
重点目標	学習指導要領の指導内容に基づいた年間計画を作成し、児童生徒の主体性を意識した評価を図る。	いじめや性・インターネットトラブル防止教育を積極的にを行い、適切な人とのかかわり方やインターネットの使い方を身に付けられるよう家庭とともに支援・指導を行う。	児童生徒や保護者のニーズを把握し、個々の実情に即した進路先を検討しながら、進路実現に向けた支援を行う。	児童生徒が発達段階に応じ生命を大切に考える考えや自分や相手、一人一人を尊重する態度を身に付けられるように学部舎が連携した指導や支援体制を推進する。	一人一人の学習上又は生活上の困難さを改善するために有効なICTの活用を進める。
具体的取組	a学習指導要領の指導内容を確認し、その内容に基づいた指導計画を作成し、児童生徒が自分から学ぼうとしている姿勢を意識した評価をする。 目標:学習指導要領の指導内容に基づいた指導計画を作成し、主体性を意識した評価をする。(80%以上)	a人とのかかわり方(異性とのかかわりを含む)やインターネットの使い方についての支援・指導を行い、いじめやトラブル防止に努める。 目標:人とのかかわり方やインターネットの使い方について積極的に支援・指導を行う。(80%以上) b学校から情報を発信したり、児童生徒の支援策を保護者と考えたりするなど、家庭と連携して支援・指導を行う。 目標:人とのかかわり方について、家庭と連携して支援・指導を行う。(80%以上)	a希望調査や説明会、相談会といった進路関連行事のほか、生活や学習活動など、学校生活のあらゆる場面において、児童生徒の卒業後の生活を意識した支援を行う。 目標:児童生徒の卒業後の生活を意識しながら、日々の支援に当たる。(80%以上) b高等部での産業現場等における実習が、進路選択の参考となるように充実させる。 目標:産業現場等における実習を生徒の進路選択につなげる。(80%以上)	a社会の状況を踏まえながら教職員一人一人がセキュリティ教育について理解を深め、学部舎で児童生徒に応じた指導や支援を行う。 目標:セキュリティ教育の理解を深め、各学部舎が発達段階や生活段階を踏まえて実践する。(80%以上) b家庭に向けた発信を行い、家庭からのニーズを把握する。 目標:こころ*からだ通信や学部だより、連絡帳のやりとりを通して家庭が求めている情報を把握し、支援方法を検討する。(70%以上)	a児童生徒の学びを充実させ生活を豊かに送ることができるようなICTの活用方法について検討する。 目標:児童生徒に有効なICTの機能や実践について、学部研究会等で話し合う。(70%以上) bICTを活用できるよう、教職員の資質能力の向上を図る。 目標:ICT機器の活用について研修会に参加したり、資料等から学んだりする。(80%以上)